

交流を通して、お互いを理解し、信頼・友情を深めていくためのコミュニケーションを実践する。

- (3) 【自分知】 異文化を知り、その違いを認め、尊重する意識を高めるとともに、自ら進んで他国の人々との交流を通して国際的視野を広げる。

3 学習課題

- (1) 中国への理解を深めよう
- ・ 2年3組鈴木恵介君（平成11年度会津若松市青少年友好交流訪中団員）の訪中談を聞く等
- (2) 友好都市荊州市とのつながりを考えよう。
- ・ 会津若松市と荊州市との交流の歴史等
- (3) 日本と中国の歴史を知ろう。
- ・ 遣隋使、遣唐使、三国志、日中戦争等
 - ・ 会津大学の先生の講話等
- (4) インターネット、文通を通して中国を知ろう。
- ・ 荊州市の生徒との交流等
- (5) 中国の中学生の生活を知ろう。
- ・ 会津大学の先生の講話、インターネット等
- (6) 中国の楽器を奏でよう。
- ・ 楊琴（ヤンチン）、二胡（アルフ）等
- (7) 日本と中国の食文化の違いを知ろう。
- ・ ラーメン、餃子、麻婆豆腐等
- (8) 中国語を学ぼう。
- ・ 基本的な会話、講演等
- (9) 書道、山水画を描こう。
- ・ 書道、山水画等
- (10) 民族衣装をつくろう。
- ・ チャイナドレス等
- (11) 少林寺拳法、太極拳をやろう。
- ・ 少林寺拳法、太極拳等

4 課題の展開

1 オリエンテーション

- ① 2年3組鈴木恵介君の訪中談を聞く。
- ② 学習の進めかたを学ぶ。
- ③ 学習課題について考える。

2 学習計画を作成する

- ① 学習課題を設定し、学習班を編成する。
- ② 学習のめあて及び学習計画を作成する。

3 学習課題についての事前学習を行う

- ① 学習課題について、調べ学習を進める。
- ② 現地調査や体験学習の準備を行う。
- ③ 電話等を使い、交渉を行う。

4 学習課題について解決する

- ① 学習課題について、調べ学習を進める。
- ② 調査学習を実施する。
- ③ 体験学習を行う。

5 学習のまとめを行う

- ① 各班で学習のまとめ方の形式に基づいて学習のまとめを行う。

6 発表する

- ① 学年集会で発表会を実施する。
- ② 廊下、掲示板等に展示する。

5 学習活動支援案（課題の一部のみ掲載）

中国語を学ぼう 学習活動支援案

本時の場所：2年1組教室 指導者：金道 律・金 群

(1) 目標
英語も大切な言語だが、使用言語の人口比率から見れば、中国語もこれから先、重要な言語の一つになることはまちがいない。そこで、会津大学の先生や留学生とのT-Tを通して、基礎的な会話を身につけさせたい。さらに言葉の習得を通して、日本と中国の文化のちがいを知らせ、中国の悠久の歴史・文化を更に学びたいという意欲や態度を育てていきたい。

(2) 活動計画【10時間】

日 時	学 習 活 動	○教師の支援（★評価）
60(土) 3校時 80(日) 4校時	(1)オリエンテーション (2)学習課題 ・各目の学習課題を決める。	○訪中団の話や外部講師の先生の話 を聞くことで、学習への意欲づけ を図る。
150(日) 4校時	(3)班編成、学習計画の作成 ・班の大きな学習課題を作る。 ・学習計画を立てる。 ・学習計画をもとに、具体的な計画を 立てる。	○第一希望を尊重し、出来る限り希 望にそった班編成をする。 ★班員が協力して学習計画をたてる ことができたか。
200(土) 3校時	(4)中国語会話の練習 ・会津大学金群先生の授業を受ける。	○留学生も交えて、挨拶をするとき にどのように言うのか、ペアで練 習させる。
250(金) 4校時	(5)中国語会話の練習 ・中国語会話の練習をする。	○四声・イントネーションなどを学 習し、言語習得の楽しさを味わわ せる。
290(日) 4校時	(6)中国語会話の練習 ・基礎的な文法事項を学習する。 ・会話練習を行う。	○テープを使い、基礎的な会話練習 を支援する。